

午後0時00分休憩

---

午後1時01分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

報告します。大浦孝司君から早退の届出があつております。

午前に引き続き市政一般質問を行います。

8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 新政会の船越洋一でございます。

さきに通告をしておりました3点について、市長の答弁を求めます。

まず、1点目ですが、燃油高騰による漁業者の支援対策についてであります。御承知のように、対馬は第1次産業である漁業は対馬の基幹産業であります。全島で12漁協、組合員数3,848人、漁船数3,722隻で、対馬の経済に大きく寄与しておりますが、世界的な燃油の高騰で、年末を控え、出漁も思うようにできない状況であります。セーフティネットによる補填もありますが、安定操業をする燃油価格にはほど遠く、行政としての支援ができないか、市長にお伺いをいたします。

次に、人口減少対策についてであります。対馬の人口は毎年600人前後減少する状況が続いている中、行政もUIターンの促進等に力を入れておりますが、歯止めがかからない状況であります。離島がゆえのハンディがあると思っておりますが、光通信の速度が遅く、国内からの移住のネックになっていることもあると思われまますので、インターネット通信速度を速める施策ができないか、お伺いをいたします。

次に、3点目であります。観光対策についてであります。

対馬は他町に類を見ないほどの史跡、文化財が数多く点在し、また、神社仏閣等も数多く島内にありますが、対馬の観光の在り方として、神社仏閣での御朱印の記帳等ができないか、各団体に働きかけていくべきだと思っております。特に近年、国内の観光客に人気があり、ぜひ、やるべきだと思っております。市長の考えを伺います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 船越議員の質問にお答えいたします。

初めに、燃油高騰による漁業者への支援対策についてでございますが、漁業経営、セーフティネット構築事業の基礎となる原油価格については、令和2年4月以降、上昇傾向にあり、出漁の抑制につながるなど、漁家経営に大きな影響を及ぼしております。

セーフティネットの役割として、漁業用燃油の価格が上昇した場合、その影響を緩和するための備えとして、漁業者、養殖漁業者と国の拠出により燃油が上昇したときに影響を緩和するため

の補填金を交付する仕組みとなっております。

補填種類は主に2種類ありまして、四半期ごとに当該四半期の原油価格の平均価格が7中5平均値。要するに、直前7年間の各月の平均価格のうち、高値12月と低値12月を除いた5年分の平均値であります。これを超えた場合に交付される価格差補填と一定期間に急激な上昇があった場合に交付される急騰対策補填がございます。補填金は漁業者と国が1対1の割合で負担するものであり、最近のセーフティネットの状況は、平成30年度の第4四半期以降、補填発動はなかったものの、令和2年度の第4四半期以降、現在まで3期連続で急騰対策補填が発動する状況が継続しており、燃油価格が急騰したことが顕著に表れております。

対馬市においても、令和2年度より燃油価格が上昇傾向となり、出漁抑制等への影響が発生したことから、漁協組合長会より、燃油への補助に対して要望がありました。これを受けて、令和2年度より対馬市独自の取組として、燃油への直接補助を実施しております。

令和3年度からは、実施基準を明確化するため、セーフティネット事業への加入が条件ではありませんが、月に2回改訂される長崎県漁連の対馬統一単価の税抜き価格を基礎価格とし、四半期ごとに公表されるセーフティネットの発動状況を加味して、70円以上90円未満はリッター当たり5円、90円以上は10円の補助を実施しております。

令和3年1月以降、長崎県漁連単価についても上がり続ける中で、漁業者の皆様には、非常に厳しい経営を強いられていることと存じますが、その影響緩和のため、セーフティネットへの加入促進に努めていただくとともに、対馬市としても、地元の状況把握に努め、今後も継続して、燃油補助を実施してまいります。

次に、人口減少対策についてでございますけれども、UIターン者の支援策といたしまして、令和元年度から奨学金返還支援制度、令和3年度には結婚新生活支援制度を創設したところでございます。

また、定住促進策におきましては、雇用の拡大、地場産業の育成など、社会情勢に応じて対応しているところでございます。

所信表明でも述べましたが、本市が離島であるがゆえに、取り残されることがないように、市民がいつまでも安心して暮らせる持続可能な島づくりを進めていくためには、人口減少対策は最も重要な施策であると認識しております。その対策の中でも、IoTやAIなどの革新的技術によって実現する新しい社会「Society 5.0」に向けて将来を見据えたインターネット等の情報通信環境の強化が不可欠であると考えております。

本市の情報通信環境におきましては、全島にサービスを開始して以来、13年が経過しており、サーバー機器、通信機器ともに耐震年数を超えている状況にあります。平成28年3月に対馬市CATV施設更新計画を策定し、令和3年3月には、その更新計画の見直しを図り、主に通信ネ

ネットワーク系の重要機器の更新を優先し、整備を行っているところでございます。

インターネットの通信速度におきましては、開設当初は30メガバイトの基本プランのみでありましたが、平成27年4月から追加オプションといたしまして、100メガバイトの高速接続オプションプランを御用意し、市民の皆様の利用状況に応じ、選択できるようにいたしております。

また、情報通信技術の進展は著しく、スマートフォンやタブレットの普及、都市部を中心にサービスが開始されております5Gなど、情報通信を取り巻く状況が大きく変化してきており、これに対応していくには、最新の情勢を踏まえて、官民が連携し、一体となって、情報通信基盤を整備する必要があると考えております。

この情報通信基盤の強化を早期実現するために、高度無線環境整備推進事業を活用した改善策の検討に入っており、一定の方向性を含め、内容等早い時期にお示しできるよう準備を進めているところでございます。

併せまして、国・県への要望活動や民間通信事業者に対する支援、協力依頼など、積極的に取り組んでまいります。

次に、観光対策についての御朱印に関する御質問でございますけれども、対馬には神社が130社あり、境内にある小さな神社を含めると約200の神社がございます。また、格式の高い式内社が29社あり、九州内の約3分の1が集中しております。

このような対馬の神社を参拝して回るのは、対馬観光の大きな魅力であることは言うに及びません。また、近年は御朱印帳を持参し、参拝した神社仏閣の御朱印を収集することが年配者に限らず、若者の間でも人気となっているようです。

しかしながら、島内の神社等においては、御朱印を直に書いていただける場所は少なく、予約が必要など多いようです。議員のおっしゃるとおり、御朱印の発行について御協力いただきたいところではございますが、各神社等の事情もあることと存じます。参拝の折に、現地で書いていただくことを基本としながらも、宮司等の会合の折などに、ふれあい処でのスタンプ対応など、よい方法がないか、御相談をさせていただきたいと考えております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） まず、1点目の燃油の高騰による漁業者への支援対策であります。まず、農林水産部長、セーフティネットに加入している漁業者の数はどのぐらいありますか。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

加入者数は916名でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 先ほど私は言いましたけども、漁業者数は3,000幾らあるんですけどね、セーフティネットに入っている方というのは、916件となりますと3分の1ですね。このセーフティネットというのも、いろいろ段階はありまして、小さい漁業者の方たちは入っていないところもあると思うんです。しかし、大型船になると、これに入っておけば、燃油の高騰の折には補助金が出ますので、有利になると思うんですよ。私が言いたいのは、要は、セーフティネットに入れない零細漁民の方がたくさんおると思うんですよ。そういう人たちには、この恩恵が行かない、いう状況が現状にあると思う。漁業者に対して、皆さんに平等に燃油価格が下がる施策は必要だろうと、私はそう思います。

それで、対馬市で、今、補填はどれぐらいしていますか。この緊急時に、部長。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

この燃油の補助につきましては、昨年度からやっております。昨年度の予算が約2,000万でございます。今年度5,000万の当初予算で組まさせていただきますが、今年に入りまして、セーフティネットが発動し続けるほど、原油価格が上がり続けたものですから、予算が不足するおそれが出てきたということで、本定例会で、また、1,000万円をお願いをしているところでございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 燃油が高騰しとるというのは、もう皆さん御承知なんですね。分かっているんです。ところが、市長も言われるように、漁業は対馬の基幹産業なんです。対馬から漁業がなくなったら、対馬は沈没しますよ。それぐらい重要な業種なんです。そこに、皆さんが困っているというところに、行政が手厚く補助をしてやるということは必要不可欠だと私は思うんです。

市長、この際、やはり、こういう緊急事態ですから、起債でも上げて、漁業者の皆さんにリッター当たり10円ぐらい下がるぐらいの補助金を出すということは考えられませんか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず、漁協の組合員数が約3,800数名いらっしゃるかと思うんですけども、この中には、准組合員の皆さんもいらっしゃるかというふうに思っております。特に、この准組合員の皆さんのことを聞いてみますと、サラリーマンをしながら副業的なことである皆さんもかなりいらっしゃるというふうに聞いております。そういうこともありまして、あくまで、平等に補助をしていくためにセーフティネット加入者という条件を出させていただ

ているところであります。それと、また、先ほど部長も答弁しましたとおり、これまで、令和2年度までは、競争力強化型の補助で、油への直接補助ではなくて、エンジンの改良とか、そういったところで燃費がよくなるようにということに対して、国のほうが2分の1の補助を構える。そこに、対馬市として、10%の上乗せをするというような形で、補助してまいりましたけども、昨年度、漁協組合長会のほうより、もう大方、競争力強化型での改造改良等は済んだのではないかということで、今後は、直接補助をお願いしたいということで要望がありましたので、私のほうも、そういうことであれば、対馬市としても、直接補助のほうに切り替えましょうということで、直接補助を今実施しているところであります。

それと、担当のほうに聞いたところによりますと、もう大体そろそろ、これまでのセーフティネットの補助5円から10円に切り替わっていくのではないかというようなことで、今回12月補正でも、1,000万円の補正をお願いをしているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） エンジンの件は、この前の市長の会派代表質問で聞きましたので、それは終わっているから、今、私が言いたいのは、今、困っている漁業のされている方たちの燃油を何とかしてくださいというお願いなんです。漁業者の皆さんに成り代わって、私はここで市長をお願いをしよる。だから、こういう緊急時ですからね。緊急時だからこそ、起債を上げてでも漁民を救わないかんという気持ちがありますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 全て救いたいという気持ちはもちろん私も持っております。ただし、この油の燃油高騰等に関しましては、他の産業も実はシイタケ乾燥とか、対馬の場合は、あまり、イチゴハウスやら、そういったあれはありませんけど、そういう面でも、他の産業もございます。そういうことでございますので、私たちとしても、国が推奨している、何せ、このセーフティネットへ加入ができんことはないです。そういうことで、できるだけ、セーフティネットへ加入してくださいということで、市としても進めているところでありますので、このことに関しまして、御理解をお願いしたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 農林水産部長、セーフティネットに入っている方が916件ですね。本年度の補正は5,000万と1,000万、今度1,000万補正組んでいますからね、今度6,000万です。今現在の漁協が年当たり1リッター当たり幾らしよるか分かりますか。漁協が漁民の人たちにリッター幾らで出しよるか。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

税込価格105円38銭でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） それは補助金を入れての金額ですか。対馬市が5,000万と今回1,000万、補正を組んでいますね。その金額を入れて、その金額なんですか。もう1回よろしくをお願いします。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） 私が先ほど申し上げたのは、漁連が販売している単価を私は申し上げております。（発言する者あり）はい。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 私が言いたいのは、漁連が出しよる金額は分かるんですね。ところが、対馬市が補正を組んで、6,000万組んで、それで、どれだけの効果があって、105円幾らかな、約106円ぐらいになると思うんですが、それに組み込まれて、その金額なのかというのを聞きよる。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） すみません。ちょっと、よく理解できなかったんですが、今……。 （発言する者あり）

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 今、106円、105円幾らですよ、漁連が出しよる価格が。そうしますと、それには対馬市が5,000万と1,000万、今度、補正を組みましたから、6,000万、対馬市は出すわけですね、補正で。そうすると、その金額も入って、漁連の金額が105円幾らになるんですかということ聞きよる。補正を予算を組んで、今、当初の、6,000万を組んどってのも、その金はどこに当てはまっているんですかということ。部長、お願いします。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） あくまでも、セーフティネットが発動して、セーフティネットで発動した額は半分が国費なんです。半分、その発動された単価の半分の引いた額が90円以上になれば、10円補填するという考えでございます。70円から90円になれば、5円補填いたしますが、90円以上になりますと、リッター当たり10円を補填すると、使ったリッター数によって、補填するという考えでございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） ちょっと、よう、分かりにくいんですが、私が聞きたいのは、市も6,000万出しているんでしょう、今度、補正を1,000万円入れてね。その6,000万

を市が燃油のために出した金、この金はどこに充当しとるんですかちゅうことを聞きよる。セーフティネットは分かりますよ。セーフティネットに関わる金にそれを出したんですか。それとも、漁民の燃料に対するために6,000万の補助を出したんですか。どちらなんですかということ聞きよる。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

漁協を通じて、生産者の漁業者のほうに、直接補助をしております。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 私はですね、要は、漁師の方たちの燃油が下がればいいんです。

セーフティネットだ、どこやろうが、漁連であろうが、そういうのはいいんです。それはそれで皆さんがやってくれとるわけです。それはいいんです。ところが、対馬市の財政から、6,000万を出しましたと。その金はどこに充当しとるんですかということ聞きよる。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この補助は、漁協を通じて、直接、漁業者のほうの燃油代に充填できるように補助しているところであります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 私も漁師の方にちょっと聞いたんですが、漁協が出しよる金額が今106円だそうですよ。ということは、今、市長が言われる漁業者の方に直接それが行くということですが、それが行って106円なんですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 105円とかいうことは、これは、今、長崎県漁連が出す単価ですから、それから、国の補助の分がございます。それに、また、対馬市の、例えば、90円以上になれば、10円が出ますので、恐らく、80円ぐらいになるんじゃないかなと思っております。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 80円ぐらいになっていますかね。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 105円ですと、5円ぐらいが、たしか、セーフティネットで国からも出ております。

すみません。令和3年度の第1四半期の補填単価が約リッター当たり、国の補填単価が9.5円ございます。令和3年度の第2四半期になりますと、約7.9円ぐらいになっております。これは、大体、補填単価の2分の1で、あとの半分は自己が払う分ですから、要は、これに、90円超えた場合、市の分が10円加算されることになりますので、令和3年の第1四半期では、

約19.5円ぐらいが、漁業者の皆さんの油購入される分よりも下がるということで理解していただければと思います。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 市長、安定操業するには60円ぐらいがと言われているんです。今、市長の答弁では、80円ぐらいにはなるでしょうということなんですが、今、燃油高騰の折ですから、60円ということにはいかんと思いますけど、しかし、それをできるだけ下げてやるのが、私は行政の仕事だろうと、こう思うんですよ。市長が言われる、基幹産業じゃ、漁業は基幹産業であるということであれば、そういうところにしっかりと力を入れる必要があると私はそういうふうに思います。

それで、いろいろ会話をしましたけども、要はリッター当たりの単価が下がればいいでしょう。ですね。それで漁民の皆さんが喜ぶんです。そして、漁にも出られるんです。だから、その安定を図るには、行政がこういうところに力を出してやるべきだと思いますので、これはお願いをしておきます。リッター当たりの単価が少しでも下がるように、補正を、足らなかつたら、補正を組んででも下げるような努力をお願いします。よろしいですか。どうぞ。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この燃油高騰対策につきましては、先々週、私も、この長崎県のほかの自治体の首長と共に東京のほうに出向きました折に、国交省関係、そして、離島振興関係の局長のところ、今、1番何が困っているかということで言われたときに、離島では、今、この燃油高騰対策が今1番困っているということで、ぜひ、この燃油高騰対策については助成をいただきたいと。今、壱岐、対馬、五島でも、それぞれ独自で助成はしてきておりますけども、なかなか、それだけでは行き届かない面もありますということで、国のほうにも、もう少し手厚い助成等をお願いしたいという要望はしてまいりました。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） この燃油の問題については、国のほうも備蓄している原油を放出するという決定もされとるみたいですが、なかなか、それが、離島のこういうところまで回ってくるというのは、いつになるか、分かりませんよね。しかし、そういうことを待ったんでは、漁師は飯が食べません。だから、そういうことを踏まえた中で、燃油高騰の折の今の現状を捉えて、単価が下がるように、最大限の努力をしていただくようお願いをいたします。

それから、2点目の、この減少対策についてでありますけど、今の対馬の人口、これは令和3年10月現在で2万8,916人。これが前月比にしますと48人減っているんです。前年比にしますと631人減少している。世帯数が、これも1万4,735世帯現在あるんですが、前年比からしますと136世帯減少しているという状況です。対馬の人口の推移を見ますと、



文献を見てみますと、江戸時代、元禄13年、西暦1700年ぐらいのときに、今からしますと320年前ぐらいです。このときの対馬の人口は、府中、厳原ですね、府中で1万6,047人、郷村で1万6,007人、合計しますと、3万2,054人、300年前にこんだけの人口があったんです。対馬にね。そうしますとね、それから、その当時はろうそくで生活をしておる時代ですから、今もう近代化されて、よくなっていますけども、その当時に、それだけの人口だったということなんです。1番ピークは、昭和30年代をはじめに、6万9,000幾ら、約7万人ぐらいおりました。それから対州鉱山の閉山もありました。いろいろいろいろ下がってきて、今現在は2万8,000人になっている。これだけ急激に減っていつているんですよ。

先ほども、私も言いましたけども、要は対馬にUIターンで、市長も努力されていると思うんですよ。しかし、それはやっても、年間に四、五十人、今まで60ぐらい来ているんですか。ただけども、こういうことでは間に合わないんです。対馬の減少は、人口の減少は。人口が減るということは産業も発展しません。人口が増えれば、産業も商店街もみんな潤って、経済はよくなってくるはずなんです。それをしていくには、どうするかということが、1番大きな課題だと私も思います。市長も頭を悩めとると思うんですが、しかし、そこに、私が一つ提案したいのが、先ほど言いましたインターネット通信、こちら辺を本土と変わらないぐらいの速さにする。そうすると、今はテレワークとか、そういうことで、会社に出勤しなくても、自宅でできますよね。こういう方たちに、そういうことは、対馬はこれだけのものは充実していますよと。東京に行かなくても、ここから、そういうことができますよと、そういうことはやる必要があると私思う。対馬は風光明媚なところで、地震ありません。雪も降りません。魚釣りもできます。ウォーキングもできます。神社仏閣もたくさんあります。歴史も豊富です。そういうことをしっかりとアピールをした中で、そういう人たちを引き入れてくるという施策も私は必要じゃないかなと思いますが、市長の答弁を求めます。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） このことに関しましては、先ほども壇上のほうから答弁させていただいたとおり、このインターネット等の情報通信環境を改善することは、本当に重要なことだと私自身も思っております。それと併せまして、対馬のほうにお見えになった方たちが、やはり、ちょっと、通信環境が弱いというような話も聞いております。そういうことで、数年前から、この通信環境の改善に向けては、ずっと、改善策を策定してきたところでありますけども、対馬市といたしまして、今現在の対馬市の光網、これだけでは、今から先、どうも、5Gにはなかなか対応が難しいというようなことも聞いておりますし、今現在、そして対馬市が構築した光網は、毎年3億から4億ぐらいの更新費が今後かかってまいります。こういうことから、これまでの公設民営の形では、なかなか新しい機器への改善ができないということで、今、総務省のほうも進

めております民間への移譲というようなことで、今の施設を民間のほうに移譲しながら、このインターネット通信環境の強化を図るということで、近いうちにお示しができるかとは思っているんですけども、実は来週も、そのことで総務省のほうにお願いに行くようにしておりますが、できる限り早い段階で、この改善は図っていく必要があるというふうに私自身も思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 市長、離島振興法というのは、昭和28年に施行されましたね。それからしますと68年たっているんです。あれは10年の時限立法ですから、あと2年すると、また、お願いせないかんわけです。10年間延長してもらわな。しかし、この法律は何かといいますと、要は本土との格差をなくすためにできたのが離島振興法なんです。それ、別に、今度は、谷川代議員がやってくれた国境離島新法、これもありますね。これは運賃、あるいは、そこら辺に特化したものですから、なかなか、これには使いにくいと思うんです。しかし、離島振興法の中では、国境離島、ここについての本土との格差をなくせるためには、どうしても通信ケーブル、これをやらなあかん。いうことを強く総務省のほうにお願いして、何とか、早く、これができるようにしないと、対馬の人口減少対策は成り立ちません。そう思いますので、市長も一緒の考えだと思いますんで、しっかり力を入れてやっていただきたいと、このように思います。よろしくをお願いします。

それから、3点目であります。観光対策。これは、特に、この対馬は、先ほども言いましたが、史跡、文化財が多いんですよ。観光の目玉というのはたくさんある。全部言いますと大変なことになりますが、要は先ほど市長も理解していただきましたけども、御朱印の記帳、これは、今、市長も言われましたが、宮司さんがおるところはいいと。ところが、おらんところでは、それができんんじゃないかということもあると思う。しかし、都会のほうでは、印判を作っているんですよ。そして、それを窓口においてある。300円ぐらい入れると。それをぼんと押せばいい。そういうことも可能なんです。だから、宮司さんがおらなければ、できんできんということじゃなしに、そういうのを置いといてでも、御朱印帳に記帳する。その喜びというのが観光客にあるんです。特に、この対馬は国境離島というのがありますから、わざわざ、あそこに行ってまで、そういうお寺とか、神社とかをお参りに行って来たということであれば、希少価値がたくさんあると思うんです。これをどうしてやっていくかということですが、先ほど言いましたが、印判を作って押す。そして、記帳代として、300円なら300円入れていただくということをやれば、そんな難しいことじゃない。観光交流商工部長、どうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） 船越議員おっしゃいますように、ちょうど、御朱印は、こ

の元号が変わった、特に令和になってからの、またブームがあったというふうに聞いておりますし、今、例えば、和多都美神社なんかでも、宮司さんとか、禰宜さんとかおられますけれども、不在をされる場合もございます。そういったときに、今、アクリルの透明の箱に和紙ではがきサイズのものと見開きのものと置かれています。それを1日10枚ずつぐらい禰宜さん書かれて、印鑑を押しておいてられますけれども、また、留守していても、1日のうちに出向いて、減っておれば、また、その日に日付を入れて追加をしておくというような手法をされておりますので、そういう今おっしゃいますように、不在の場合でもできる方法はあるのかなとは思っています。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） やり方はいろいろあると思います。それを考えてやっていくのは、あなたたちの仕事なんですね。例えば、今、神社のことだけ言いましたが、お寺、ここもいいと思うんです。お寺が巖原に、長崎県の神社庁に登録されている神社は、巖原町内だけで36社ある。お寺が32、お寺があるんです。こういうことを回るだけでも、市長が言われるウオーキング。年配の方たちがそういうのを一つ一つ回って、夫婦で歩いて、一つずつ御朱印頂くということも健康のためにはいいでしょう。ましてや、対馬全島には「八十八カ所」ちゅうのあります。弘法大師の。こういうことも、全体をそういうマップというのを作って、そして、そういうところに行く手順も作って、全部書いて、そして、それを配布をしつつの中で、皆さんにそれを行っていただくというようにしていけば、大分変わってくると思うんですけど、そういう人たちが動くことによって、活気が出てくるんですよ。今、じいっとしとけば、人の通りがない。そういうこともなかったら、活気がないんです。この島全体に。だから、そういうことも含めて、観光交流商工部長、ちょっと、知恵を出して、それがどうすれば、よくなっていくかということをしっかり考えてください。

それともう1点言いたいのは、要は、今、行政の中も部長会議というのがありますね。私は、部長会議は確かにそれでいいんですが、要は、若い職員、係長、課長、おるでしょう。そういうところも、そういういろいろな会議をして、それを煮詰め上げて、そして部長会議に持ってきて、部長が会議を開くと。そういうシステムも必要じゃないかなと思います。若い職員たちは自分たちがしゃべる機会がないという人がおるでしょう。いろんなことを対馬のことを考えとる若い職員もおると思うんですよ。ところが、そういう人たちのその考え方というのは抹消されてしまって、部長会議の中でそれが決まってしまうだけで、自分たちの出るところがない。こういうこともあろうかと思えます。だから、そういうところも含めて、行政の中で、そういうことを一つ一つ拾い上げていった中で、職員全体でそういうことができるようなことも考えていただきたい。このように思います。

市長最後に、今まで3点質問しましたけども、御意見があれば、拝聴したいと思います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 大変参考になる貴重な御提案をいただいたというふうに思っております。私自身も、先ほど申されたように、この御朱印等は、今、ブームでありますので、このブームのときに、これだけ対馬でも130社ある神社。先ほどそして厳原のお寺が多いなどは思っていましたけど、32お寺あるというようなことでございますので、このことを今後の観光振興につなげてまいりたいというふうに思っております。

そして、また、人口減少対策につきましても、今、何せ、インターネットの時代でありますので、インターネット環境が都会に遜色ない環境にすることで、リモートワークとワーケーションと、こういったところがやれていきますので、このことも一所懸命に進めてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 時間が1分切りましたので、最後のお礼だけ言っときますが、市長、それから、観光交流商工部長、農林水産部長、よろしくお祈いしますよ。あなたたちが頼りですから、しっかり対馬を担っていくのは、あなたたちの能力ですから。それに決断を下すのは市長でしょうから。お祈いをして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、船越洋一君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。2時5分から再開します。

午後1時51分休憩

午後2時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

報告します。上野洋次郎君から早退の届出があっております。

引き続き、市政一般質問を行います。13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 皆様、こんにちは。大変お疲れさまです。対政会の波田政和でございます。市長をはじめ執行部の皆さんにおかれましては、コロナ禍の中、毎日の行政運営で大変お疲れとは存じますが、質問の機会を頂きましたので何点かお尋ねしたいと思っております。

また、今議会の中で南部地区アクションプランが実現に向け進んでいる報告があり、南部地区出身の議員として感動しております。地域住民が納得いく住みやすい地域づくりに期待しております。ありがとうございました。どうぞよろしくお祈いいたします。